

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	書しゃの やくそく [教科書 巻頭] ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。[知技(3)ウ(ア)]	適宜	1 書写学習の前に行う三つの確認事項(机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる)を理解する。 2 以後、書写の時間の前に一連の流れを適宜実践することを理解する。 3 目次を見て、1年間の学習内容を知る。	【態】 進んで①書写学習の前の確認事項を理解し③、学習課題に沿って②机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている④。
	いつも 気を つけよう			
	字を 書く しせい [教科書P2-3] ◎文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)ウ(ア)]	2～3	1 P2-3の写真を見て、文字を書くときの正しい姿勢を確かめる。 2 唱え歌「足は ペったん せなかは ぴん…」に合わせて、友達と姿勢を確かめ合う。 3 P3の写真を見て、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を確かめる。 4 文字を書くときの正しい姿勢で、任意の線や文字を書いてみる。	【知】 文字を書くときの姿勢を正しくしている。 【思】 唱え歌に合わせて、文字を書くときの姿勢を確かめている。 【態】 積極的に①文字を書くときの姿勢を確かめ③、書写学習の見通しをもって②姿勢を正しくしようとしている④。
	えんぴつの もち方 [教科書P4-5] ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。[知技(3)ウ(ア)]		1 P5の写真や唱え歌「えんぴつ つまんで…」を見て、鉛筆の持ち方を確かめる。 2 P5の下絵を見て、手の置き方を確かめる。 3 文字を書くときの正しい姿勢と鉛筆の持ち方で、任意の線や文字を書いてみる。	【知】 筆記具の持ち方を正しくして、書こうとしている。 【思】 任意の線や文字を書きながら、正しい筆記具の持ち方を確かめている。 【態】 積極的に①筆記具の正しい持ち方を確かめ③、書写学習の見通しをもって②任意の線や文字を書こうとしている④。
	書しゃの 学しゅうばめん [教科書P6-7] ◎教材内に提出される具体的な学習活動を知り、学習の見通しをもつことができる。[知技(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]		1 以後の教材内に提出される具体的な学習活動をアイコンと対応させながら知り、学習の見通しをもつ。	【態】 積極的に①教材内に提出される具体的な学習活動を知り③、書写学習の見通しをもって②以後の学習活動に取り組もうとしている④。
5月	点や 画の 組み立て			
	書きじゅん [教科書P8-9] ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	2	1 「三・川・月・中」と「立・林・円・車」を指でなぞり、筆順の原則を理解する。 2 「日」と「百」を見て、同じ部分は同じ筆順で書くことを理解する。 3 筆順の原則に従って、下段の漢字を鉛筆で書く。	【知】 筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 「三・川・月・中」と「立・林・円・車」をなぞるなかで、筆順の原則を確かめている。 【態】 進んで①筆順とその原則を確かめながら③、学習課題に沿って②漢字を書こうとしている④。
	点と 画の 名前 [教科書P10-11] ◎漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の書き方に注意しながら書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	2	1 漢字の点画の名称を点画の形の特徴と対応させて覚える。 2 「犬・四」を見て、漢字は点や画の組み合わせでできていることを理解し、点画の名称を空欄に書き込む。 3 P37「一年生で 学んだ かん字」から任意の漢字を選び、点画を意識しながら書く。	【知】 漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の名称を覚えている。 【思】 点画の形の特徴と対応させて、点画の名称を確かめている。 【態】 積極的に①点画の名称を覚え③、学習課題に沿って②任意の漢字を書こうとしている④。
6月	点や 画の 間 [教科書P12] ◎点や画の間に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2～3	1 二つの「目」を比べて、㊦の字形を整えて書くためにはどうしたらよいかを考え、話し合う。 2 点や同じ種類の画が複数並んでいる場合、その間を同じくらい空けて書くとき字形が整うことを理解する。 3 点や画の間に気をつけて、「目」と「魚」を鉛筆で書く。	【知】 点や画の間に注意して、文字を正しく書いている。 【思】 「目」「魚」を書くなかで、点画の間を確かめている。 【態】 積極的に①点や画の間に気をつけて③、学習課題に沿って②「目」と「魚」を書こうとしている④。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	画の 長さ [教科書P13] ◎点画の長短に注意して、文字を正しく書くことができる。 [知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1 二つの「言」を比べて、㊦の字形を整えて書くためにはどうしたらよいかを考え、話し合う。 2 横画が複数ある場合、一画だけ長く書くと字形が整うことを理解する。 3 横画の長さに気をつけて、「言」と「書」を鉛筆で書く。	【知】 点画の長短に注意して、文字を正しく書いている。 【思】 「言」「書」を書くなかで、点画の長短を確かめている。 【態】 積極的に(①)点画の長短に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)「言」と「書」を書こうとしている(④)。
	画の つき方と 交わり方 [教科書P14-15] ◎点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1 「八・入・文」を指でなぞり、画と画が「離れる・付く・交わる」の違いを理解する。 2 画と画が付くか交わるかで違う漢字になる場合があることを理解する。 3 画の付き方と交わり方に気をつけて、空欄に入る漢字を鉛筆で書く。	【知】 点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書いている。 【思】 「八・入・文」をなぞるなかで、点画の接し方や交わり方を確かめている。 【態】 積極的に(①)点画の接し方や交わり方に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)空欄に入る漢字を正しく書こうとしている(④)。
7月	ことば [教科書P16-17] ◎今までに学習した知識・技能を生かして丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	1	1 「スイミー」の文章を、声に出して読む。 2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、「スイミー」の文章を鉛筆でなぞる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 「スイミー」の文章をなぞるなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「スイミー」の文章をなぞろうとしている(④)。
	書しや 広げたい① <国語> [教科書P18-19] ◎原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)] ○内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]	2	1 原稿用紙の使い方(題名・名前の書き方、句読点を書く位置、会話文の書き方など)を知る。 2 始め・中・終わりを意識して、おもしろいと思ったものを知らせる文章を考える。 3 原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に気をつけて、考えた文章を原稿用紙に書く。(または、P18-19の文例を視写する。)	【知】 原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 原稿用紙に文章を書くなかで、原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形を確かめている。 【態】 進んで(①)原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)原稿用紙に書こうとしている(④)。
	書しや 広げたい② <生活> [教科書P20] ◎点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)] ○伝えたいことを簡単な手紙(お礼状)に書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)イ]	適宜	1 横書きで書くときの文の書き始めや促音・拗音・句読点の書き方・罫線への収め方などを理解する。 2 横書きでお礼状を書く。(または、P20の文例を視写する。)	【知】 点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 お礼状を書くなかで、点画の書き方や文字の形、横書きの書き方を確かめている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や文字の形、筆順、横書きの書き方に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)お礼状を書こうとしている(④)。
	こんな ことは ないかな [教科書P21] ◎点画の書き方や文字の形、連絡帳の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)] ○連絡帳に正しく記録することができる。[B(1)ウ・エ]		1 連絡帳の読みやすい書き方を知る。 2 自分の連絡帳を見て、後から読みやすくするために工夫できることを考える。 3 学習したことを生かして連絡帳を書く。	【知】 点画の書き方や文字の形、連絡帳の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 連絡帳を書くなかで、今までに学習したことをどのように生かすかを考えている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や文字の形、筆順、連絡帳の書き方に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)連絡帳を書こうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
9月	「はらい」の ほうこう [教科書P22-23] ◎点画（払い）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1 「千・人・天・月」の左払いを指でなぞり、左払いにはいろいろな方向があること、払いの方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2 さまざまな方向の左払いと、同じ方向の左払いをもつ漢字を線で結び、方向の違いを確かめる。 3 右払いの方向にも違いがあることを知る。 4 払いの方向の違いに気をつけて、「春風」「手足」を鉛筆で書く。	【知】 点画（払い）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】 「千・人・天・月」の左払いをなぞるなかで、点画（払い）の方向の違いを確かめている。 【態】 積極的に(①)点画の方向に注意して(③)、学習課題に沿って(②)「春風」「手足」を書こうとしている(④)。
	「おれ」の ほうこう [教科書P24] ◎点画（折れ）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1 「日・口」の折れを指でなぞり、折れの方向には違いがあること、折れの方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2 折れの方向の違いに気をつけて、「日・円・口・出」を鉛筆で書く。	【知】 点画（折れ）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】 「日・口」をなぞるなかで、点画（折れ）の方向の違いを確かめている。 【態】 積極的に(①)点画の方向に注意して(③)、学習課題に沿って(②)「日・円・口・出」を書こうとしている(④)。
10月	「そり」の ほうこう [教科書P25] ◎点画（反り）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2～3	1 「気・思」の反りを指でなぞり、反りの方向には違いがあること、反りの方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2 反りと曲がりの違いを確かめる。 3 反りの方向の違いに気をつけて、「気・思・手・子」を鉛筆で書く。	【知】 点画（反り）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】 「気・思」をなぞるなかで、点画（反り）の方向の違いを確かめている。 【態】 積極的に(①)点画の方向に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「気・思・手・子」を書こうとしている(④)。
	「点」の ほうこう [教科書P26] ◎点画（点）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1 「立・小・点」の点を指でなぞり、点の方向には違いがあること、点の方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2 「雨音」「金魚」の点がそれぞれどの方向かを考えて、鉛筆で書く。	【知】 点画（点）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】 「立・小・点」をなぞるなかで、点画（点）の方向の違いを確かめている。 【態】 積極的に(①)点画の方向に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「雨音」「金魚」を書こうとしている(④)。
11月	水ふでで 書いて みよう [教科書P27] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)、内容の取扱いカ(エ)]	適宜	1 水書用筆の使い方を確かめ、P27「かん字の たし算」を見て、「左払い」と「右払い」、「日」と「十」を水書用筆で書く。 2 1で書いた「左払い」と「右払い」を組み合わせでできる漢字、「日」と「十」を組み合わせでできる漢字を考え、点画の書き方に気をつけて水書用筆で書く。 3 画の終筆に気をつけて、「八・人・入」「早」を鉛筆で書く。	【知】 点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、水書用筆で丁寧に書いている。 【思】 水書用筆で書くなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。 【態】 進んで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)水書用筆で書こうとしている(④)。
	字の 形			
	字の 形 [教科書P28] ◎文字の形（外形）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1 「雨・月・西・上・下・手」を見て、漢字にはどのような形（外形）があるかを調べる。 2 外形に気をつけて書くと、字形が整うことを知る。 3 三つの「左」「寺」から正しい外形の漢字を選び、外形に気をつけて鉛筆で書く。	【知】 文字の形（外形）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】 「雨・月・西・上・下・手」を見るなかで、文字の形（外形）を確かめている。 【態】 進んで(①)文字の形（外形）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「左」「寺」を書こうとしている(④)。
12月	字の 中心 [教科書P29] ◎文字の形（中心）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	1	1 補助線をヒントに、「本・文・合・二」の中心を探す。 2 「縦画」「点」「画と画が付くところ」「横画の真ん中」が文字の中心になることを理解する。 3 文字の中心を見つけて、「出口」「天空」を鉛筆で書く。	【知】 文字の形（中心）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】 「本・文・合・二」を見るなかで、文字の形（中心）を確かめている。 【態】 進んで(①)文字の形（中心）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「出口」「天空」を書こうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
1月	まとめ			
2月 3月	書きぞめ [教科書P30-31] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]	4～5	1書き初めとは何かについて、確かめる。 2フェルトペンの持ち方を確認し、フェルトペンで「元氣にあいさつ」（「大きなゆめ」）を書く。 3これまでに学習したことに気をつけて、鉛筆で書き初めの文章を書く。	【知】習得した知識・技能を生かして書いている。 【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②) 書き初めを書こうとしている (④)。
	二年生の まとめ [教科書P32-33] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]	3～4	1P32-33『『たいせつ』のまとめ』を見て、第2学年で学習した知識・技能を確認する。 2確認したことを生かして「見・星・上・夏」「夜」「空」を鉛筆で書き直す。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「見・星・上・夏」「夜」「空」を書き直すなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②)「見・星・上・夏」「夜」「空」を書き直そうとしている (④)。
	一年間の 学びを ふりかえろう [教科書P34-35] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]		1今までに学習した知識・技能を生かして、鉛筆で「一年間の思い出」を書く。(または、P34の文例を視写する。) 21を書くときに気をつけたことを、P35の「書しゃの ことば」を使って友達どうしで伝え合う。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「一年間の思い出」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②)「一年間の思い出」を書こうとしている (④)。
適宜	しりょう			
	ひらがな／かたかな／数字 [教科書P36] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	適宜	1平仮名・片仮名の筆使い、筆順、数字の書き方などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
	一年生で 学んだ かん字 [教科書P37] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1第1学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】積極的に (①) 点画の書き方や文字の形、筆順などを確かめ (③)、今までの学習を生かして (②) 丁寧に書こうとしている (④)。
	二年生で 学ぶ かん字 [教科書P38-39] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1第2学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の形、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
	えんぴつの ひみつ [教科書P40] ◎鉛筆の作り方を理解し、筆記具への関心を高めることができる。[知技(3)ウ(ア)]	1	1P40の説明や写真を見て、鉛筆の材料や芯の濃さの種類、作り方を知る。 2理解したことや感じたことを友達と話し合い、筆記具への関心を高める。	【知】鉛筆の作り方を理解している。 【態】進んで (①) 鉛筆の作り方を理解し (③)、今までの学習を生かして (②) 理解したことや感じたことを話し合おうとしている (④)。
	筆を つかった 学しゅう 〈はってん〉 [教科書P41] ◎3年生から毛筆学習が始まることを知り、学習への興味を高めることができる。[3・4年知技(3)エ(ウ)]	適宜	1第3学年から毛筆を使った学習が始まることを知る。	【知】3年生から毛筆を使った学習が始まることを理解している。 【態】積極的に (①) 毛筆について知ろうとし (②)、学習の見通しをもって(②)3年生から始まる毛筆学習への興味を高めようとしている(④)。